

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	先端基盤技術研究開発推進経費		担当部局庁	研究振興局			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度~		担当課室	基盤研究課 基盤研究課長 柿田 恭良			
会計区分	一般会計		施策名	X-8 新興・融合領域の研究開発の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	光・量子科学技術、ナノテクノロジー、数学・数理科学など様々な分野の研究開発に活用される基盤技術に関する研究推進方策や放射光施設等の研究基盤施設の整備・運営等について、検討会や動向調査を通じて今後の施策の在り方の検討及び推進に資する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	光・量子科学技術、ナノテクノロジー、数学・数理科学など様々な分野の研究開発に活用される基盤技術の研究開発の今後のあり方や活用方策及び研究基盤施設の整備・運営についての検討会開催や外部有識者からのヒアリング等を行うとともに、国内における各機関の現地調査や各種学会・シンポジウムを通じた動向調査、更には国際会議等を通じて諸外国の取組等の情報収集や情報交換を行い、文献情報のみでは得ることが難しい基盤技術の開発・活用、基盤施設の整備・運営等の施策の検討及び推進に資する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度		
	当初予算	-	-	-	38.7		
	補正予算	-	-	-	0		
	繰越し等	-	-	-	0		
	計	-	-	-	38.7		
	執行額	-	-	-			
執行率 (%)	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
本事業は、基盤技術の研究推進方策や研究基盤施設の運営等について、検討会や調査等により今後の各施策の推進に資するものであり、アウトカムの指標の設定は困難である。		成果実績					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		達成度	%				
活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
基盤技術開発の研究推進方策や基盤研究施設の運営等の施策の立案、改善を行った領域数		活動実績 (当初見込み)	件				(4)
単位当たり コスト	9,677(千円/件)		算出根拠	単位当たりコスト=(平成23年度予算額:38,707千円)/(活動指標: 4件)			
平成 23 ・ 24 年度 予 算 内 訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	11.1百万円	11.1百万円				
	庁費	10.3百万円	10.4百万円				
	委員等旅費	8.3百万円	8.2百万円				
	非常勤職員手当	6.7百万円	6.3百万円				
	諸謝金	2.3百万円	2.3百万円				
	計	38.7百万円	38.3百万円				

事業所管部局による点検							
	評価	項目	特記事項				
目的状況・予算の 使途	<input type="radio"/>	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。					
	<input type="radio"/>	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。					
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。					
資金の流れ、費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。					
	<input type="radio"/>	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。					
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	<input type="radio"/>	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
活動実績、成果実績	<input type="radio"/>	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。					
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。					
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。					
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
点検結果	本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。						
予算監視・効率化チームの所見							
	本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。						
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)							
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）							

【A】

文部科学省
38.7百万円

・職員旅費 : 11.1百万円
・庁費 : 10.3百万円
・委員等旅費 : 8.3百万円
・非常勤職員手当: 6.7百万円
・諸謝金 : 2.3百万円

} を含む

光・量子科学技術、ナノテクノロジー、数学・数理科学など様々な分野の研究開発に活用される基盤技術の研究開発の今後のあり方や活用方策及び研究基盤施設の整備・運営についての検討会開催や外部有識者からのヒアリング等を行うとともに、国内における各機関の現地調査や各種学会・シンポジウムを通じた動向調査、更には国際会議等を通じて諸外国の取組等の情報収集や情報交換を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	国内外の動向調査等	11.1			
庁費	検討会等の開催に必要な経費	10.3			
委員等旅費	検討会等へ出席するための旅費等	8.3			
非常勤職員手当	事業実施全体の実施に必要な経費	6.7			
諸謝金	検討会等へ出席する委員等への謝金	2.3			
計		38.7	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)